

暴力追放「いのちを守る」
長崎市民集會に参加!
(4月26日、浜町観光通り)

長崎中総体福田中学校校入場
行進
(6月7日、柿泊陸上競技場)



大浜町自治会ペーロン大会
(6月8日、大浜町海岸)

地域のボランティア活動に
参加!
(6月14日、八軒家バス停付近)

総務委員会報告(要旨) 6月18日～20日

◆「市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例」
市長(10%)、副市長(5%)、教育長(3%)、常勤の監査委員(3%)、上下水道事業管理者(3%)及び病院事業管理者(3%)の給与を減額する。

◆「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」
公務員の育児休業等に関する法律の一部が改正され、育児のための短時間勤務制度が導入されたことなどに伴い、本市の職員についても同様の措置を講じる。

◆「長崎市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」
消防団員の報酬年額36,000円を36,500円に、平成20年4月1日より引き上げる。

◆「財産の取得について」
科学消防ポンプ自動車(約4,400万円)を代替購入し、消防体制を維持する。

◆「財産の取得について」
水槽付消防ポンプ自動車(約2,570万円)を代替購入し、消防体制を維持する。

◆給料月額

区分	現行	減額割合
市長	1,105,000円	10%
副市長	899,000円	5%
教育長	716,000円	3%
常勤の監査委員	614,000円	3%
上下水道事業管理者	716,000円	3%
病院事業管理者	818,000円	3%

◆減額の期間 平成20年7月1日～平成23年4月21日まで
◆年間の効果額 ▲約498万円



現在配置されている水槽付消防ポンプ自動車

編集後記

▼洞爺湖サミット(第34回主要国首脳会議)は、7月7日～9日に開かれ、地球温暖化防止対策、アフリカ支援等が議論され、温室効果ガスの排出抑制に踏み出しました。私達も出来る取り組みから始めてみましょう。風呂の残り湯を洗濯に使い、庭の水やり・トイレの水に使うことにより、年間約7kgのCO2の削減ができ、年間約4,200円の節約が出来るそうです。

▼原油高騰で、7月から対馬市ではガソリンがレギュラー1リットル当たり210円、長崎市内は184円に上がりました。金融市場の投機マネーの影響も指摘され、政治・経済等が大きく影響を受けています。また、食料品等の価格も徐々に値上がり、中国産うなぎ・飛騨牛偽装問題等、食の不安は増大し、私達の生活は苦しくなるばかりです。漁業・農業従事者、製造業者等にとっては死活問題になるのが懸念されます。食糧価格など高騰対策は待たない状況にあり、先手先手のうち手を望むものです。

ご相談は
お気軽に!

長崎市議会議員
井上重久

長崎市大浜町408
自宅 ☎865-3553
長崎市水の浦町1-1
生活相談室 ☎861-1985

活力あふれる 住みよい長崎!



長崎市議会議員

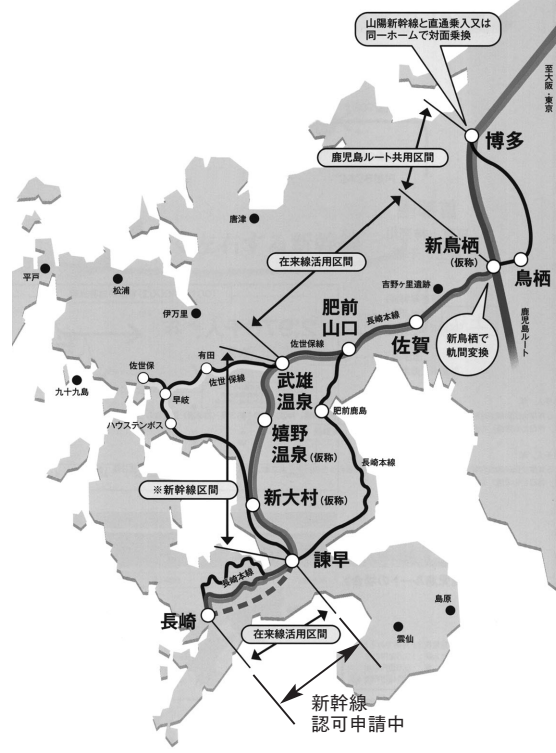
しげ ひさ
井上重久 No.8
だより

平成20年8月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 吉次 博之 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032

新型試験車両のフリーゲージトレイン
在来線での走行試験スタート!



フリーゲージトレインとは、新幹線(標準軌)が在来線(狭軌)を直通運転することができるよう、車両の車輪幅を軌間(ゲージ)にあわせて自動的に変換する電車。技術開発の促進で早期実用化が望まれる。



本会議で3回目の登壇!

猛暑の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝にて活躍の事と存じます。
私も市議会議員となり、あっという間に1年が過ぎ去り、議員活動にも少しばかり慣れてきました。6月定例議会において、3回目の登壇をさせて頂きました。質問内容や時間配分等、まだまだ反省を残すところですが、地域の声を代表し行政側に質したところでです。

都市整備対策特別委員会にて論議中!

都市整備対策特別委員会は、都市整備の現状と課題点を把握し、にぎわいと活力ある都市づくりにより寄与することを目的に設置され、原則として、毎月1回開催されています。

主な調査内容は、長崎駅周辺土地区画整理事業、長崎本線連続立体交差事業、新幹線西九州ルート(諫早～長崎)の3事業を中心とした、新幹線を活かしたまちづくり、まちなか再生計画等について、現状を把握し、調査・検討を行っています。(長崎市の財政負担は、15年間で約150億円程度)

2018年新幹線開業に向けて!

10年後、20年後、子供たちが大人になった時、「長崎に住んで良かった」「長崎で働き・暮らすため」に、新幹線を活かした交流人口の拡大による産業・地域の活性化は、真に重要テーマであります。(最近の新幹線開業効果は、1・4倍から2・4倍の交流人口が拡大)

長崎市の人口が減少するなか、地域の衰退を抑え、国際観光文化都市長崎の玄関口にふさわしい都市拠点等を目指してまいりますので、皆様方のご意見・ご指導をよろしくお願ひします。

長崎市議会議員 井上 重久

平成20年第2回定例会(6月議会)開催!

総額補正2億9,872万円(一般会計補正2億3,302万円含む)、
20の議案と5の報告を可決・承認!!



長崎市議会平成20年第2回定例会(6月議会)は、6月6日(金)から25日までの20日間の日程で開催されました。今議会は、一般会計補正(2億3,302万円)、特別会計補正(70万円)、公営企業会計補正(6,500万円)が上程され、条例改正では市長・副市長・特別職(4人)の給与を7月から減額する条例、市立市民病院の通常分娩料を9月から値上げする条例改正など20の議案と5の報告を可決・承認しました。
また、議員提案の「地球温暖化防止対策について国民的取り組みの強化を求める意見書」「非核日本宣言を求める意見書」「次期定数改善計画の実施と義務教育国庫負担制度の堅持に関する意見書」を可決・採択しました。

平成20年度補正予算の主な内容

I 一般会計

◆庁舎維持管理費…880万円
水産農林部及び農業委員会の朝日ビルからの撤去に伴い、現状回復に係る経費を負担する。

◆長崎衛生公社補助金

◆長崎衛生公社への運営補助金を貸付金に切り替えることに伴い減額する。

◆長崎衛生公社貸付金

長崎衛生公社が金融機関から融資を受けた運営資金

の平成19年度末残高(3億5,000万円)及び平成20年度の運営資金(1億4,000万円)を貸し付ける。

◆青少年健全育成活動事業費補助金

青少年健全育成活動事業費補助金…130万円
コミュニティ活動を実施する上で必要な備品等の購入経費を補助する。

◆公債費(元金)

水道事業会計出資金に係る繰上償還(6,310万円)及び地域総合整備資金貸付金に係る繰上償還(1,852万円)。

II 特別会計(財産区)

●財産管理費…70万円
北浦名財産区不動産強制競売申立てに係る経費を計上する。

III 企業会計(水道事業)

…6,500万円



安全・安心・交流センターとして活用される旧木鉢交番跡地

◆児童クラブ施設整備事業費…130万円
旧木鉢交番を安全・安心・交流センターとして活用するに伴い、小榊小学校区内の既存児童クラブが狭隘となっていたため、児童クラブとして使用できるように改修し、施設の狭隘化の解消とクラブ規模の適正化を図る。

●資本的支出(出資金返還金)…6,310万円
平成19年度への繰越事業費に未執行額が生じたことから、出資金の一部を一般会計に返還する。

●収益的支出(雑支出)…190万円

一般会計が借り入れた出資債に係る支払済み利子相当額を、一般会計に返還する。

一般質問・回答要旨

1. 財政運営の健全化について
質問 財政構造改革プランにおいて、経常収支比率は80%台後半、自主財源比率は45%以上、基金は100億円以上を数値目標に設定しているが、現状と見通しについて?
回答 財政構造の弾力性を判断する指標である「経常収支比率」は、平成18年度95.6%となっており、平成19年度も扶助費や公債費など義務的経費が増す一方で、地方交付税が大幅に削減されたことなどから、目標達成は非常に厳しい。

自主財源の歳入総額に占める割合である「自主財源比率」は、平成18年度41.7%となっており、平成19年度は国から地方への財源移譲により、自主財源の大部分を占めている市税が増すことから、平成18年度より改善する見込みです。「基金残高」は、平成18年度は113億円となっているが、平成19年度は76億円程度となる見込みです。

2. 老朽危険空き家対策について
質問 老朽危険空き家対策の現状と建築基準法に伴う行政指導の対応について?
回答 従来から建築基準法に基づき、所有者等の建築物維持保全義務を根拠に、その家屋の除去や改修の指導を行っています。平成18年度は49件、平成19年度は45件の危険空き家の除去や改修を所有者等自ら行い、地域の安全性が一定向上しています。

3. 福田バイパスの早期事業化及び国道202号の交通安全対策について
質問 福田バイパス建設促進
回答 長崎県は、平成20年度期成会は、約10,000名を超える署名を集約し、長崎県・長崎市に対して陳情を行いました。陳情を受けて、県・市の対応は?

回答 長崎県は、平成20年度に予定している歩道の段差改善、補修等は、昨年に引き続き実施し、歩道拡幅等についても、大浜町のマリナシティ長崎前付近の延長100mの区間など、調査・設計に着手することです。
長崎市は、国道202号の安全対策の実施を最優先し、福田バイパスの早期事業化についても、「福田バイパス建設促進期成会」の皆様とともに、ルートの絞り込みなど実現に向け、より具体的な調査に入って頂くよう、今後とも県に対し働きかけを続けていきます。



早期ルートの絞り込み調査が望まれる「福田バイパス(仮称)」



本会議にて3回目の登壇!

質問 市税等の増収対策について、現状の検討状況と市税の拡大など今後の取り組みについて?

回答 市税徴収率は、平成15年度90.7%であったが、平成18年度92.5%に向上、平成19年度には92.8%となる見込みです。コンビニ収納は、導入前の平成18年度と比較すれば納期限内納付が件数で7、

229件、税額にすると約6,900万円増加し、一定の効果があつた。今後は、市税や保育料などについてもコンビニでの収納が出来ないか検討を進めています。
新たな収入増対策は約5億円を見込んでいます。郵送用封筒等への企業広告掲載及び自動販売機設置に係る使用料基準の見直しは、早期に実施できるように取り組んでいます。さらに、ふるさと納税の寄付金収入、使用料・手数料の見直しなどに取り組み、将来に向けた健全な財政運営に努めます。

質問 長崎市の人口規模約45万人とほぼ同規模の、金沢市約44万人・松山市約51万人と比較して、長崎市の行政運営は?

回答 長崎市は、金沢・松山市と比較すると80億円から90億円近く多くなっています。その要因は、職員数が多いこと、給与の水準が高いこと、2点です。職員数は両市と比較して、部・課の組織数が多く、そのため管理職・職員数等が多くなっています。給与水準は、職員一人当た



自席から再質問を行なう!

再質問 投資的経費は、類似都市に比較して少ないが、今後どのような方向にもっていくのか?

回答 投資的経費の割合は、平成18年度決算で中核市平均14.7%に対し、長崎市は8.4%とかなり少ない状況となっています。公共投資を行うことは、雇用確保や市内経済の活性化にも一定資するものであり、各種大型事業や学校等の耐震化などの課題もあり、収支構造改革を進め財源を確保し、真に必要な公共投資が着実に実施できるよう取り組みます。